

# 中学校国語科における自分の考えをもつ力を育成する説明的文章指導の工夫 — 自分の考えを明確にしていくワークシートと「学び合い」活動を取り入れて —

国語班 中澤 伸一（中学校教諭）

## 主題設定の理由

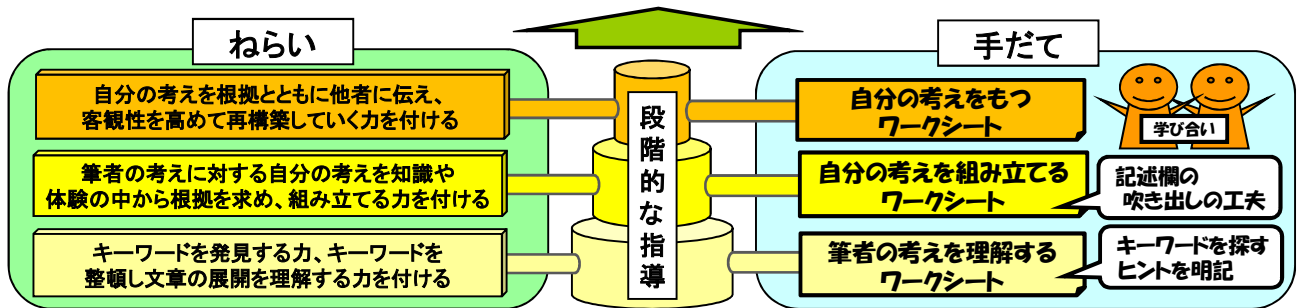


- 自分の考えをもてない生徒、また、自分の考えをもてても文章化（発信）することができない生徒が多い。
- 新学習指導要領の国語科では、「言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し、表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成すること」を重視している。
- 「はばたく群馬の指導プラン」（H24群馬県教育委員会）では、群馬の子どもたちは、基礎的・基本的な知識は身に付いているものの、考えたことを表現する力や日常生活と学習を結び付ける力に課題があることが指摘されている。

## 研究構想図

◎自分の考えをもつことができる生徒とは...  
ある文章から筆者の考えを読み取り、それに対して組み立てた自分の考えを他者と交流することを通して再構築できる生徒

目指す生徒像・・・自分の考えをもつことができる生徒



生徒の現状

- 自分の考えを論理的文章にすることができない。
- 自分の立場、その根拠を明確にできない。
- 筆者の考えを理解できない。

教師の願い

- 客観性のある自分の考えをもて欲しい。
- 自分の考えとその理由を明らかにして欲しい。
- 文章を読んで、筆者の考えを理解して欲しい。

## 実践と結果

### 「筆者の考えを理解する」段階

〈活動〉  
文章の重要な部分を抜き出し、必要な情報を取り出す。  
(ワークシート)

ヒントが書いてあるので、空欄に何を書けばいいのかわかりやすかった。

生徒アンケートから

ワークシートから  
キーワードを抜き出せた **100%**

### 「自分の考えを組み立てる」段階

〈活動〉  
筆者の考えに対する自分の考えや、その根拠を明確にしていく。  
(ワークシート)

自分の経験をまぜながら、自分の意見と理由を書くことができました。

自分の考えを書くことができた **93%**

### 「自分の考えをもつ」段階

〈活動〉  
自分の考えとその根拠の妥当性を他の生徒と吟味し合う。  
(ワークシート・学び合い)

友達の見聞を聞くと、自分の中で新しい意見が生まれた。また、『やっぱりそう思う。』ということも増えた。

学び合いで自分の考えを再構築できた **91%**

9割以上の生徒が自分の考えをもつことができた。

## 成果と課題

### 成果

- 意見や根拠など、どこにどのような内容を記入するかを明確にしたワークシートを使用したため、これまでよりも短時間で文章の要旨をつかむことができた。
- 生徒は「正確な読み取り」や「学び合い」などの活動により、「自分の立場やその根拠を明示し、反駁意見に対応し結論をまとめる」という流れを理解し自分の考えをもつことができた。

### 課題

- 「学び合い」活動までに自分の考えや理由の準備が必要であるため、個人の作業にばらつきが生じる場合がある。言葉がけや教材の工夫など、個別支援を工夫する必要がある。
- ワークシートを活用しながら「自分の考えをもつ力」を育成する過程を構築していったが、この力を定着させるためには、三年間を見通した年間学習計画を作成していく必要がある。